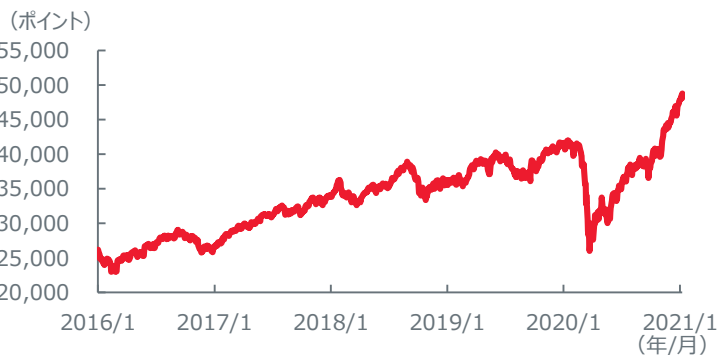
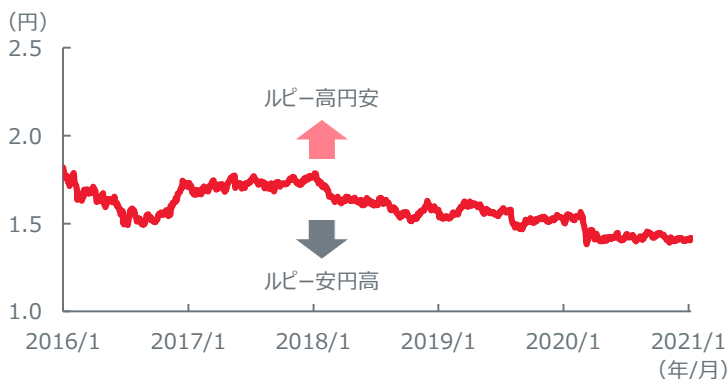


(対象期間：2021/1/4～2021/1/8)

【株式市場】 SENSEX指数の推移
(2016年1月1日～2021年1月8日)【債券市場】 インド本国通貨建て10年国債利回りの推移
(2016年1月1日～2021年1月8日)【為替市場】 インドルピーの対円レートの推移
(2016年1月1日～2021年1月8日)

* オペレーションツイスト：長期国債の買いオペと短期国債の売りオペを同時に行い、長短金利を逆方向に動かす公開市場操作
出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国フルデンシャル・グループ

英国フルデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているフルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるフルデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。

【株式市場】

週初は、前日のインド政府による新型コロナウイルスのワクチン緊急使用承認を受けてインド株式市場は上昇しました。5日も好調な貸出が報じられた大手住宅金融会社がけん引して続伸しました。6日は米ジョージア州上院選挙の決選投票を見極める動きなどから反落し、7日も利益確定売りに押されて続落しました。8日は米国での追加景気刺激策への期待から上昇し、主要株価指数であるSENSEX指数は週間でも上昇し、過去最高値を更新しました。

2021/1/1	2021/1/8	変化率
47,868.98	48,782.51	+1.91%

【債券市場】

週初は、外国人投資家からのインド債券市場への資金流入などを受けて、インド10年国債利回りは低下（価格は上昇）しました。5日も小幅な利回り低下となりました。6日は原油価格の上昇を嫌気して利回りは上昇しました。翌週に実施される予定のオペレーションツイスト*への期待が下支えとなったものの、米国債の利回りが上昇傾向となったことなどもあって、週末まで利回り上昇が続きましたが、週間では横ばいとなりました。

2021/1/1	2021/1/8	変化幅
5.875	5.875	+0.000

【為替市場】

インドの景気回復が続いており、今後輸入が増えて貿易赤字が拡大するとの懸念や原油価格の上昇がルピーの重石となったほか、米国金利の上昇で米ドルを買う動きが強まる中、ルピーは対米ドルで下落しました。一方、円も対米ドルで下落し、円の下落幅が大きかったことから、ルピーは対円では上昇しました。

2021/1/1	2021/1/8	変化率
1.414	1.418	+0.28%